

外国にルーツを持つ児童・生徒の
教育を考えるフォーラム

学校や地域につなげる取組



NPO法人可児市国際交流協会
事務局長 各務真弓

指定管理者：NPO法人可児市国際交流協会
可児市多文化共生センターフレビア

〒509-0203

岐阜県可児市下恵土1185-7

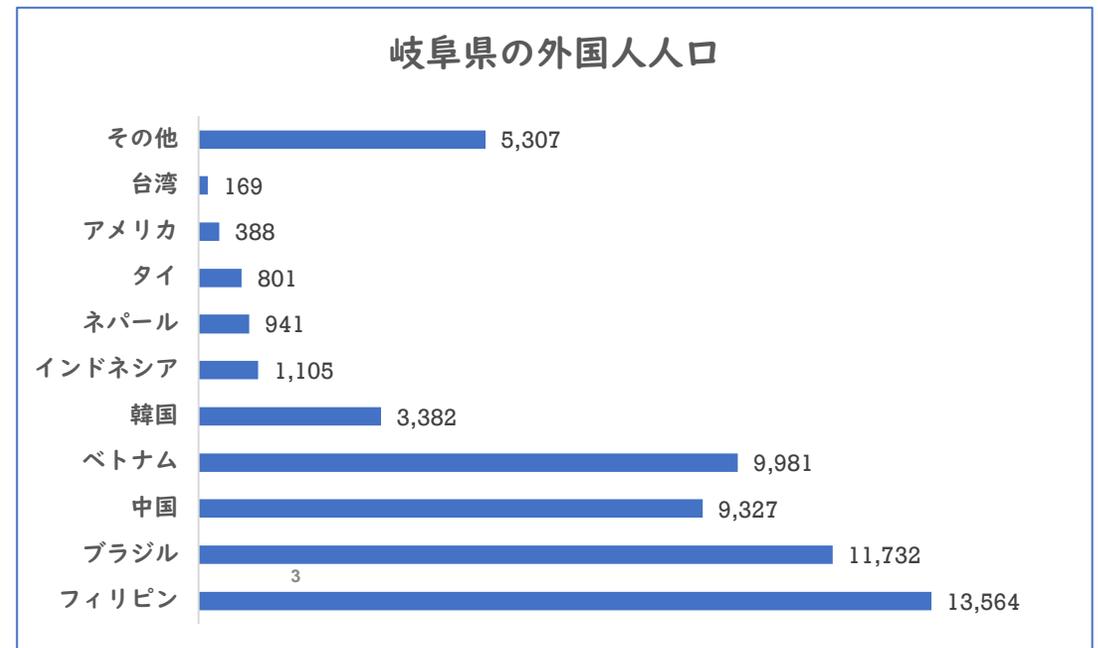
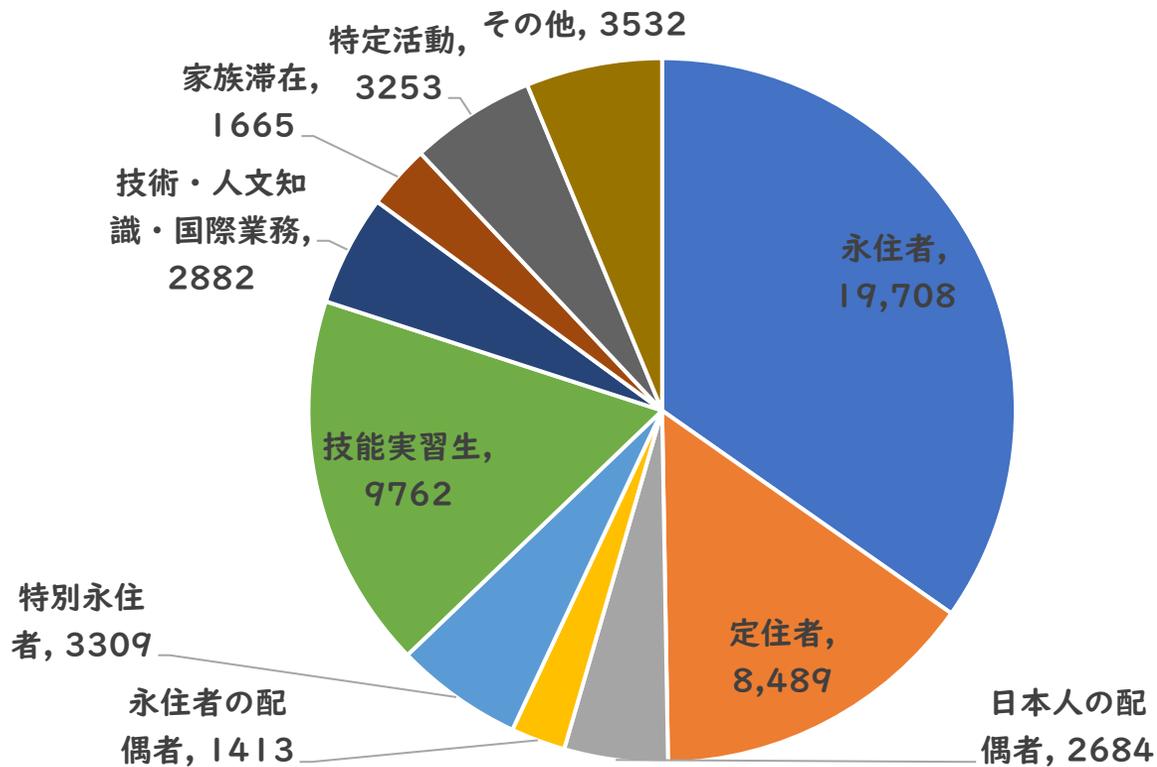
TEL：0574-60-1200 / 60-1122 / fax：0574-60-1230

E-mail：npokiea@ma.ctk.ne.jp

HP：freviakani.jp

岐阜県内国籍別外国人人数

2021年12月現在 総数：56,697人



出入国在留管理庁HPより各務作成

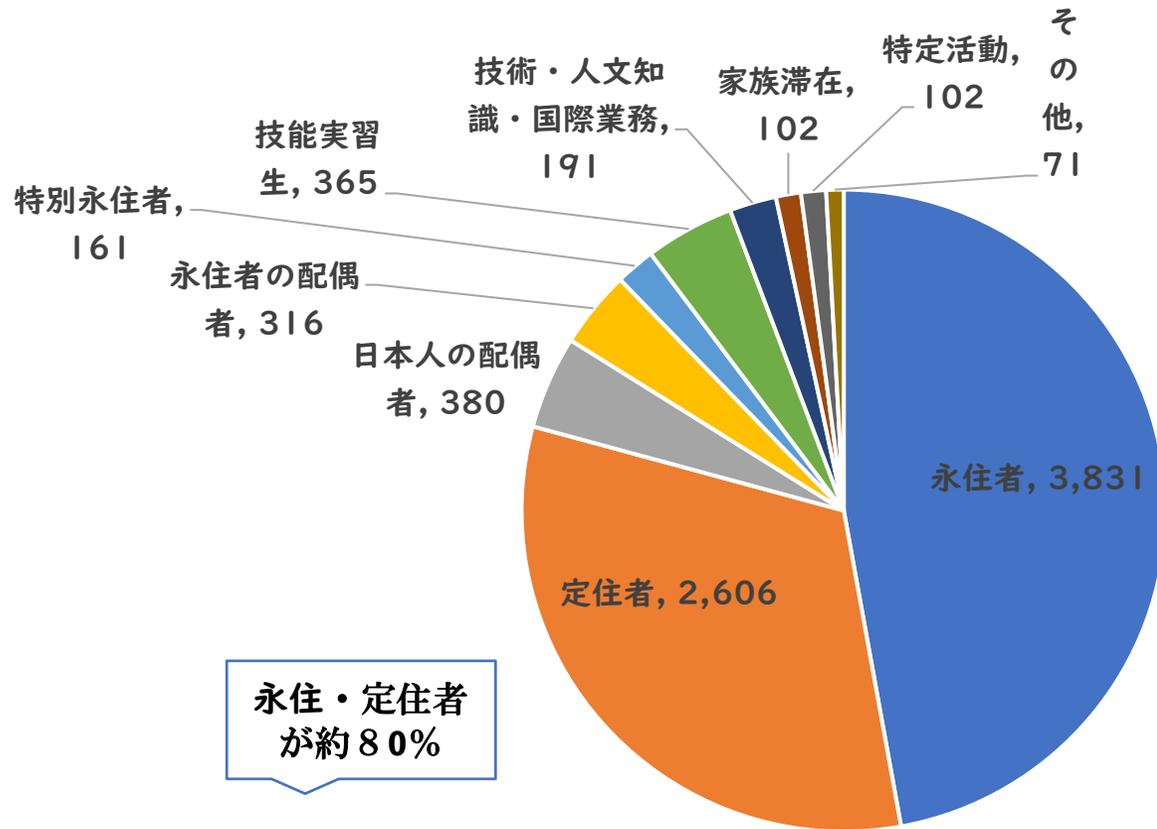


■ 可児市の位置



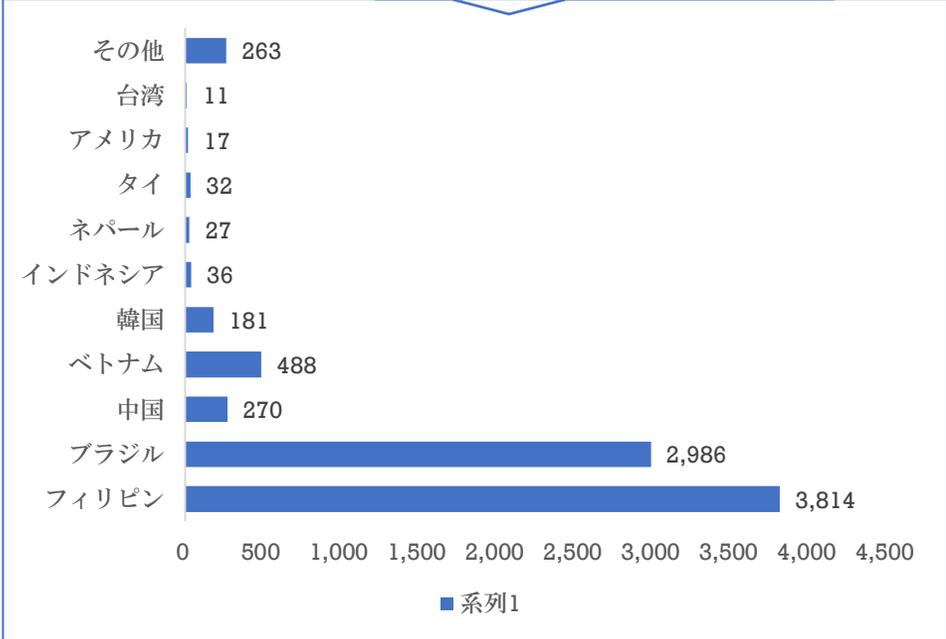
可児市の在住外国人

2021年12月 総数：8,125人



永住・定住者が約80%

フィリピン・ブラジルで約83.69%



出入国在留管理庁HPより各務作成

可見市の国籍別児童数



2022年4月1日現在

全校生徒数 7,985人 全体の**9.7%**

小学生総数：5,395人 中学生総数：2,590人

	フィリピン	ブラジル	ペルー	中国	その他	合計
小学校	281	216	8	12	13	518
中学校	137	86	7	4	3	258
合計	418	302	15	16	16	776



可見市国際交流協会



- 2000年 市の後押しを受け、市民による設立団体
- 行政との協働で実施した外国人の子どもの教育環境調査により市が不就学ゼロを目指し動き出す
- 2008年 活動拠点となる可見市多文化共生センターがオープンし活動が広がる
- リーマンショックによる外国人支援の広がり、多くのネットワークや人材を得る



可見市国際交流協会の事業

A 可見市多文化共生センター管理運営事業

B 多文化共生に関する自主事業

A 可見市多文化共生センター 管理運営事業

1 日本語学習



3 外国人相談窓口



- 9:00~18:00
ポルトガル語とフィリ
ピノ語
英語、 スペイン語で
の相談対応

2 情報提供・発信



4 交流の場づくり



B 多文化共生に関する自主事業

1 言語学習支援事業	2 定住外国人の子どもの教育支援事業
3 地域社会への多文化共生促進事業	4 情報交流・発信事業

B 多文化共生にかかわる自主事業

言語学習支援

■ 地域日本語支援者養成講座



● 子どものポルトガル語



● 子どものポルトガル語
10年のあゆみ 報告会



● 子どもの中国語



ポルトガル語講座

中国語講座

日本語教室

スペイン語講座

英語講座

韓国語講座



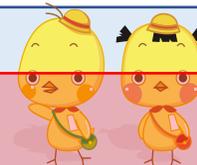
2022年度 就学（進学）支援の充実



おひさま教室

就学前の子ども

ひよこ教室



学校生活や集団活動になれるための活動や指導

サシペレレ

(公立学校に通う子ども)
ポルトガル語や英語学習
を通じ多様な文化を学ぶ

きぼう教室

(公立学校に通う子ども)
日本語指導及び教科指導
小学生クラス、中学生クラス

子どもの
中国語

就学年齢の子ども

公立学校

ばら教室KANI
国際教室
在籍学級

ゆめ教室

(不就学・自宅待
機不登校の児童・
生徒)
日本語・教科指導

ゆめスマ
イリング

青少年の就労日本語
日本語指導
社会性の強化

就学年齢を超えた子ども

かがやき教室

(中学卒業程度認定試験の受験が必要な子ども)
日本語指導及び5教科の集中講座

さつき教室

高校進学を目指し、日本語・教科指導
学校見学・進路ガイダンス・地域交流

NPO法人可見市国際交流協会

B 多文化共生にかかわる自主事業

学校につなげる支援

- 小学校入学準備「ひよこ室」



就学前
準備指
導



- 「ゆめスマイル教室」

- 小学校入学ガイダンス



- 「きぼう教室」



補習教
室

学校

不就
学・不
登校

- 高校進学支援
「さつき教室」



高校進
学支援



- 岐阜県補助事業
「かがやき教室」



- 言語別進路ガイダンス



地域との連携

- こころと体の相談会



- ぎふ外国につながる子どもの教育ネットワーク



- 地域づくりネットワーク会議

地域社会

- その他
- 通訳ブラッシュアップ研修
- 防災研修
- ドキュメンタリー映画上映
- フレビアカフェなど



- 多文化ソーシャルワーク研修
- やさしい日本語研修



外国人の子どものキャリア教育

外国人十代の子どもの増加

- ・やる気がない
- ・昼夜逆転
- ・問題行動
- ・親の無理解

日本社会での自立

- ・広域支援のNPO
- ・大学生や高校生
- ・プロのファシリテーター
- ・可見市国際交流協会

- ・呼び寄せによる学歴の分断
- ・日本語の壁による自信喪失
- ・将来が見えない
- ・働き手として期待されている

ライフプランやキャリア教育

2019年度事業

高校進学支援教室の10年追跡

2009年度～2018年度

- 206人中 90人が進学 44%進学
- 就労が23人 11%
- 帰国は10人 5%
- 不明が71人（調査後に状況がわかった子も含む）

若者たちを見てきた中で感じた

課題 1

ライフプランとキャリア教育の必要性

課題 2

アイデンティティーと言語

解決策として取り組んでいること

3言語での進路学習会



先輩の話をきく

進路指導、進路決定はどうしてる？



↑ 中国語でのガイダンス



外国人向けのビジネスマナー研修

現在は、加茂高校定時制にて4年生に実施



ライフプランと性教育

ブラジル人学校での実践



映像で伝える可児の今

～アート作品とドキュメンタリー映像制作～



<https://youtu.be/5feFdneMmN8>



活躍の場を提供

可児夏祭り
多言語アナウンス



フェスティバルの企画、
運営



職場体験



多文化ソーシャルワーク研修

令和3年度 一般財団法人 自治体国際化協会助成事業
 《全日程への参加が難しい場合は、お申し込み時にご相談ください》

日程・内容		
第1回	7月25日(日)	多文化ソーシャルワークの必要性
第2回	8月22日(日)	子どもたちが抱える課題と向き合うために ～入口となるアセスメントについて学ぶ～
第3回	9月20日(月・祝)	現代の子どもの問題の背景と支援
第4回	10月17日(日)	子どもたちが抱える課題 ～発達が気になる子どもたちへの支援～
第5回	11月7日(日)	子どもたちが抱える課題 ～日本語以外の母語をもつ子どもたちへの支援～
第6回	11月21日(日)	他地域に学ぶ～多機関・他職種による連携～

※定員超過の場合、全日程にご参加いただける方を優先いたします



お願い

講座は市の新型コロナウイルス感染症予防対策に沿って実施いたします。
 会場にてご参加の場合は、体温チェック・消毒・マスク着用等へのご協力をお願いいたします。
 感染症対策などによる制限により、日程・会場・開催方法等が変更となる可能性があります。
 Zoomでご参加の場合、人数によっては質疑応答の機会が十分に確保できない可能性があります。また、グループワークなどへの参加は難しい場合があります。予めご了承ください。
 本講座の事例やワーク内で知り得た情報の取り扱いについて、下記の同意書をご確認のうえ、 チェックをお願いいたします。

申込方法 下記の項目をご記入のうえ、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

お名前	お住まいの 都道府県・市町村	ご所属・団体名	Zoom参加 (希望する場合○)
ご連絡先	電話番号		
	E-mail		
同意書	<input type="checkbox"/> 講座内で知り得た、講師・参加者やその関係者に関する個人情報に関して、 許可なく講座外で第三者に漏洩または開示することはありません。 サイン(直筆)		
備考			

※E-mailでお申し込みの場合、件名を「多文化 SW 実践講座申込」としてください。なお、その場合も同意書を確認いたしますので、上記ご記入のうえ、当日会場にお持ちいただくか、事前に郵送にてお送りください。
 ※Zoom参加を希望される方は、ID等をメールでご連絡いたします。必ずメールアドレスをご記入ください。
 ※ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、講座運営の目的のみに使用いたします。



子どもの背景を知る

多文化ソーシャルワーク 基礎研修の様子



ぎふ外国につながる子どもの 教育を考えるネットワーク

2021年5月15日立ち上げ

大垣市、瑞穂市、岐阜市、
関市、美濃加茂市、高山市、
可児市の
外国につながる子どもの支
援者ネットワーク（7団
体）

アドバイザー：小島祥美
（東京外国語大学准教授）



教育相談窓口や学習支援、進路などの
アドバイザー派遣も実施

課題 2

アイデンティティと言語



日本にいるんだから日本語で！

だけでいいですか？

ことばの壁

2021年度事業

母語教育の10年の成果

ポルトガル語も得意！

通訳になりたい！

- ・外国人相談件数は、子どもの教育にかかわる相談が多い。
- ・母語の重要性を実感する中、市の委託事業では母語指導が実施できなくなった
- ・子どものポルトガル語教室が10年経過し、中高生の受講者の進学の報告を多く聞く

母語教育の継続の成果をみえる形にしたい

日本で暮らすのにポルトガル語勉強する必要ある？

日本にいるなら日本語でしよう？

学習についていけないのは日本語の問題？

日系サポーターの受け入れと 活動内容

日系サポーター KIEAの提案

- ❖ 地元行政及び外国人生活相談業務について十分に理解するとともに、多文化ソーシャルワークについて知る。
- ❖ 日本在住日系人子弟への日本語教育及び母語教育に貢献できる。
- ❖ 日系人子弟の就学及びキャリア教育に貢献できる。
- ❖ 研修員が母国において、生活における問題を抱える住民に対して、適切な助言や支援が出来るようになる。
- ❖ 地域住民へのブラジル文化紹介などにより相互の文化理解ができる。
- ❖ 日本の教育制度や関連の機関の役割を理解する。

JICA日系サポーター事業

「在日ブラジル人へのソーシャルワーク」

- JICA中部を通じ事業実施
- 2020年度受け入れプレ事業としてインターン受け入れ コロナ感染拡大により遠隔研修
- 2021年度 事業採択

ブラジル現地調査などまだ、コロナ感染が収まらず、遠隔研修となる

「DLAテスター研修」も受ける

2020年度

2021年2月1日～
3月19日

2021年度

5月13日～2月25日

2022年度

研修員への期待と効果

- 研修員：吉實フェリッペよしお氏の経歴
幼少期に来日、帰国、再来日し、公立小学校で日本語習得し、
帰国のためにブラジル人学校に通う。
- 帰国後、学校に通いながら日本語教育も続け、日本語指導もしていた。
- 素晴らしいロールモデルとして私たちの前に現れた。
- 吉實氏が、母語・継承語の重要性を証明している。

- ポルトガル語と日本語両言語が生かせる研修であり、日本で暮らす日系ブラジル人の状況を把握するために、もっと可見市の取り組みなどを知ってブラジル本国にも発信してほしい。

遠隔研修での提案

- 1 ブラジル本国からの現地レポート
 - 1) COVID-19感染拡大化のブラジル本国の現状
 - 2) ブラジルの教育制度について・・・特に通信制教育の位置づけなど
- 2 ブラジルにつながる子どもが抱える言語発達にかかわる問題改善検討策のための準備

当団体は、子どもの教育に着目して活動しているため、教育に関する相談件数が多い

子どものポルトガル語が10年を迎え、母語・継承語教育のもたらすものを検証予定

文部科学省の「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメント（DLA）の評価理解

にかかわる研修とポルトガル語と日本語の両言語による実態把握の実施とその検証のための準備

吉實さんからの活動報告

日系サポーターへの期待

- 当団体の日系サポーター研修の目的は、ソーシャルワークであるが、相談件数の多くは子どもの教育にかかわること
- 在日ブラジル人の子どもたちの教育の現状を知り、交流を通じて母語、継承語の必要性やブラジル文化継承にも寄与できる
- 一人の身近な大人として、子どもたちが将来を考えるきっかけを一緒に考えてほしい